



青春まっただ中の一中生が、 熱い想いを一生懸命表現しています！



生徒はそれぞれ、「こんな自分になりたい」という目標を持っています。目標を実現することは容易なことではなく、時には壁にぶつかったり、自分の特性に悩んだりすることもあります。しかし、生徒は諦めることなく高きを目指して一人黙々と努力したり、友だちと励まし合って練習に取り組んだりしています。そのような経験を通して気付いたことや考えたこと、そして身に付けた技術や精神力をいろいろな場面で身体や言語を通して堂々と表現しています。

中体連総合体育大会始まる！ 各競技で一中生が躍動しています！

Fight!

5月31日(土)卓球競技を皮切りに始まった「総体」も2週目に入り、各競技で熱戦が繰り広げられています。一中生も卓球、サッカー、ソフトテニス、野球競技で大会に臨みました。3年生にとっては負ければ部活動引退となる大一番。一つ一つのプレーに勝ちたい、もっとプレーを続けたい、感謝の気持ちを伝えたい等の気持ちが込められており、観客に感動を与えるシーンがたくさんありました。また、後輩の先輩にかける必死の声援も印象的でした。

【各部の活躍の様子を紹介します！】

＜女子卓球＞

団体第3位入賞（県大会出場）、
新人大会決勝トーナメント
1回戦敗退からの大躍進！



＜女子ソフトテニス＞

念願の団体戦初戦突破！
準々決勝も3年ペアが勝利する
など意地を見せる。



＜サッカー＞

新人大会優勝のあずま中を
終始攻めまくる。
シュートがゴールポストに
当たる不運もあり得点が奪
えず惜しくも敗退。



＜野 球＞

投打がかみ合い7-0の
圧勝で初戦突破。
次戦は、堅い守備とチーム
打撃で新人大会優勝校に
真っ向勝負を挑む！



＜男子卓球＞

団体第3位入賞
宮郷中、殖蓮中の上位2校と
最後まで接戦を繰り広げる。
個人でも3名が県大会出場を
決める。



校内少年の主張大会

全校生徒が、自分の体験や世の中の出来事を元に、考えたことや気づいたことを発表しました。

各学年代表による校内大会は、どの発表も自分の心と真っ直ぐ向き合った中学生らしい内容でした。聞いている生徒も真剣な表情で、仲間の発表から多くの刺激を受けていました。

なお、審査の結果、1年生の宮崎愛羽さんが学校代表として伊勢崎市大会に出場することになりました。市大会は6月26日(木)あずまホールで行われ、一般に開放されます。

＜各学年代表発表生徒（敬称略）＞

- 1年 晴日貴十「差別泣き世界へ」 宮崎愛羽「ふつうってなんだろう」 小山春姫「作文やりたくない」
2年 村上琴美「失敗の価値」 金子和樹「時間の中にあるもの」 安原健翔「センスは自分で磨くもの」
3年 勝矢百華「小さな自分」 日向琉維「今を生きる」 齋藤 有「本当のつながりは、すぐそばにある」
大和奏輝「価値観」

